

V 明日の“楽しい保育”につながる保育記録の工夫

質の高い教育・保育の実現のためには、取組の評価と改善が大切です。教育・保育を記録し、そこから子ども理解や環境構成の在り方等を見直し、次の取組に生かします。

本章では、奈良教育大学附属幼稚園が研究開発した、「保育ほっとホットトーク」と「わくワークシート」を紹介します。

明日の“楽しい保育”につながる保育記録の工夫

奈良教育大学附属幼稚園の研究

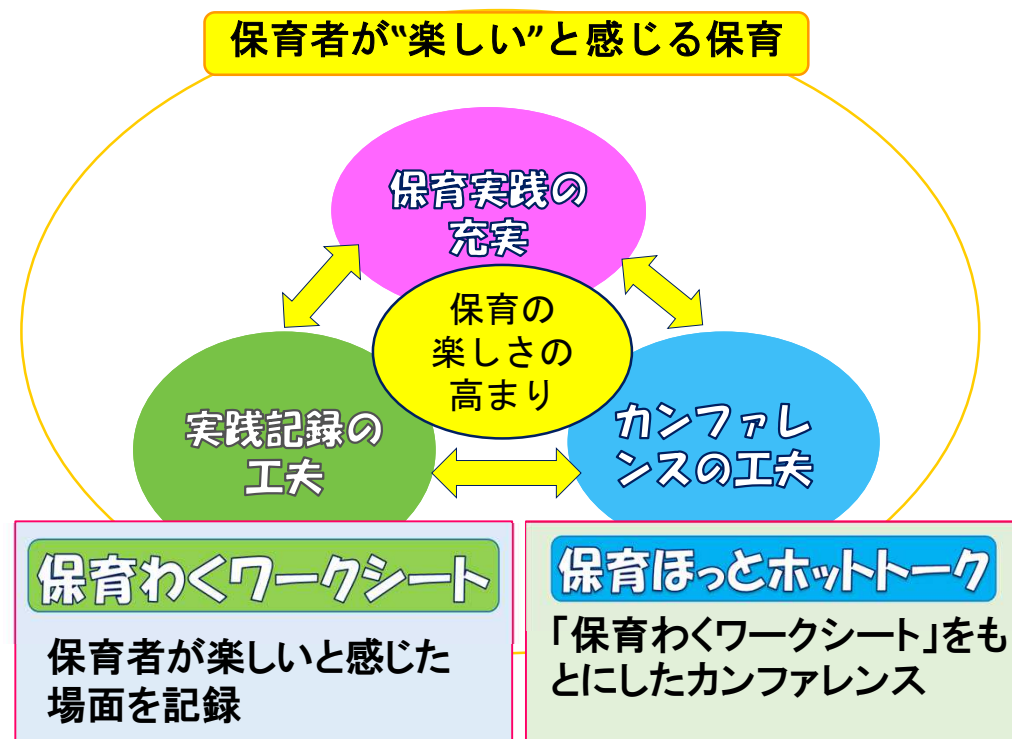
～「子どもたちの未来につながる“楽しい保育”の追及」から～

1. “楽しさ”から始まる保育

子どもは“楽しい”から遊び、“楽しさ”の中で学びます。それは、保育者も同じです — 子どもの“楽しさ”を見つめ、共感する。“楽しさ”の中の学びを見取り、さらなる“楽しさ”と学びを生み出す環境構成や援助を行う — 子どもの“楽しさ”は保育者の“楽しさ”でもあります。「保育者が“楽しい”と感じる保育」をすることから始めましょう。

2. 「保育者自身が楽しいと感じる保育」をするために

保育者が“楽しい”と感じたことから記録する「保育わくワークシート」と、そのシートをもとに語り合う「ほっとホットトーク」で、意欲を高め、保育の質の向上を目指しましょう。



3. 「保育わくワークシート」と「保育ほっとホットトーク」の効果

保育わくワークシート とは・・・

- ・保育者が「楽しい」と感じた保育場面を記録するシートです。
 - ・「楽しい」と感じたことから書き始める
 - ⇒ 楽しい気持ちで保育を振り返ることができる
 - ・30分程度で書きたいところ、書けるところを書く ⇒ 気軽に書ける
 - ・援助や環境構成のきっかけとなった思いを書く
 - ⇒ 保育者の思考が可視化される

保育ほっとホットトーク とは・・・


- ・ **保育わくワークシート** を使ったカンファレンスです。
 - ・記録者は一番楽しかった場面を語り、参加者は気付いたことや質問を自由に発言する ⇒ 保育の喜び、奥深さを共有できる
 - ・話し合いながらシートを完成させる
 - ⇒ 子ども理解が深まり、参加者全員の保育力が向上する
 - ・記録者の悩みの解決や、次の日の保育につながる
 - ⇒ 保育者のモチベーションが上がる
 - ・楽しい場面発信のため、互いを認め合うことができる
 - ⇒ 同僚性が高まる



4. 「保育わくワークシート」の書き方

①保育者が“楽しい”と感じた場面を書く、写真を貼る

保育わくワークシート 歳児 月 日 () 「 」 記録者

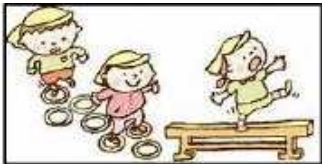
姿	ねらい	環境構成		
<div style="border: 2px solid orange; border-radius: 20px; padding: 10px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> <p>保育者が楽しいと感じた場面を書く</p> </div> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;"> <p>楽しい場面の写真を貼る</p>  </div>				
【子どもの育ち】(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿)				
健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり
思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量・図形、文字等への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

- この欄には「保育者が“楽しい”と感じた場面」の子どもの姿を記入する。
- 箇条書きで思いのままに書くとよい。

●この部分だけでも書きためていくことで保育者のモチベーションアップにつながる。

②楽しい場面までの展開、保育者の考えや援助を記入

保育わくワークシート 歳児 月 日 () 「 」 記録者

姿	ねらい	環境構成		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">○○○○○○○</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">○○○○○○○ ○○○○○○○</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;">○○○○○○○</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">○○○○○○○</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">○○○○○○○ ○○○○○○○</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;">○○○○○○○</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">○○○○○○○</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">○○○○○○○ ○○○○○○○</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; text-align: center;">○○○○○○○</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; text-align: center;"> ○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○ </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>				
【子どもの育ち】(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿)				
健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり
思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量・図形、文字等への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

子どもの遊んでいる様子

保育者の援助

保育者の思い・考え・ねがい

- 「保育者が“楽しい”と感じた場面」につながる「子どもの遊んでいる様子」と「保育者の援助」を思い起こしながら、上から順に書いていく。
- 援助の側に吹き出しをつけ、その援助の根拠となった「保育者の思い・考え・ねがい」を書く。

- 保育を振り返ることで、自分の援助に根拠のあることや、その援助が子どもの姿にどのように影響を及ぼしたのかについて気付くことができる。
- 「保育者の思考の見える化」により、保育ほつとホットークの重要な観点の1つである援助と遊びの展開について深い学び合いができる。

③子どもの姿、ねらい、環境構成、子どもの育ちなど記入

保育わくワークシート 歳児 月 日 () 「 」 記録者

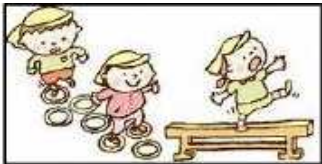
姿 ○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○	ねらい ○○○○○○○○○○.....① ○○○○○○○○○○.....② ○○○○○○○○○○.....③	環境構成 ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○		
【子どもの育ち】(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿)				
健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	社会生活との関わり
思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量・図形、文字等への関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現

- 「保育者が“楽しい”と感じた場面」に関連することに絞って、「姿」「ねらい」「環境構成」を記入する。
- 「ねらい」の上から順に番号を付けて、援助の根拠となったねらいの番号をそれぞれの援助の横に書く。
- 最後に「子どもの育ち」を記入する。

- シートに書き込んでいくことで、子どもの姿とねらいの整合性、ねらいと環境構成や援助の適合性など自分の保育を振り返ることができる。
- 「子どもの育ち」の欄の項目は、自由に設定する。「幼児教育において育みたい資質・能力」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」、「主体的・対話的で深い学び」、「教育目標」などを設けることで、多面的に子どもの育ちをとらえることができる。

④保育ほっとホットトークで出たこと、気付いたことを記入

保育わくワークシート 歳児 月 日 () 「 」 記録者

姿 ○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○	ねらい ○○○○○○○○○○.....① ○○○○○○○○○○.....② ○○○○○○○○○○.....③	環境構成 ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○	
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="text-align: left;"> <p>A.○○○○○○○ ○○○○○○○ ○○○○○○○</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>○○○○○○○</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>○○○○○○○ ○○○○○○○</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 0 10px;">○○○○○○○</div> <div style="margin: 0 10px;">...①</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="text-align: left;"> <p>○○○○○○○ ○○○○○○○</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>○○○○○○○</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>B.○○○○○○○ ○○○○○○○ ○○○○○○○</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 0 10px;">○○○○○○○</div> <div style="margin: 0 10px;">...①・②</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="text-align: left;"> <p>C.○○○○○○○ ○○○○○○○ ○○○○○○○</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>○○○○○○○</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>○○○○○○○ ○○○○○○○</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 0 10px;">○○○○○○○</div> <div style="margin: 0 10px;">...③</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; width: 60%;"> <p>○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○</p> </div> <div style="text-align: right;">  </div> </div> </div>			
【子どもの育ち】(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿)			
健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え
思考力の芽生え	自然との関わり・生命尊重	数量・図形、文字等への関心・感覚	言葉による伝え合い
社会生活との関わり		豊かな感性と表現	

●「保育わくワークシート」をもとに「保育ほっとホットトーク」を行った場合は、語り合ったことで新たに気付いたこと、理解を深めたこと、次の保育の構想につながるようなことなどを関連する場面の近くにメモをする。

●「子どもの姿」「ねらい」「環境構成」「子どもの育ち」の項目については、みんなで話し合いながら、加筆していく。


●保育ほっとホットトーク中または後に記入する部分は赤字または青字で色を変えて記入する。


●余白に記録者（担任または実践者）の感想をまとめて書いておくことで自身の学びの軌跡が残っていく。


●対話の中で、子どもや保育の在り方について新しい気づきを得ることができる。また、保育の楽しさ、喜び、奥深さなどをみんなで共有することで、保育意欲の向上につながる。


●話し合ったことを集積することで、「年齢の特性」「保育者が“楽しい”と感じる保育をするための環境構成や援助のポイント」を明らかにすることができる。

5. 「保育わくワークシート」と「保育ほっとホットトーク」の実践例

 タンブリンははじめから出していたの？

 ジャンプタッチ遊び用に3個出していたよ。
タンブリンの音や楽しそうな雰囲気につられて子どもたちが集まってきたから、椅子を増やしたよ。
はじめは手を叩いていた子どもも、タンブリンを叩きたいといったので、慌てて数を増やしたよ。

 3歳児のはじめは遊具の数は多めにと指導計画に書いているけど、まさにその必要性がわかる場面だね。

 少ない数の物を共有することも大切だけど、この場合はたくさんあったからこそ楽しく遊べたんだね。

姿

- 笑いは返せるようになってきている
- 園生活を楽しんでいる
- みんなと一緒に行き先を楽しんでいる
- 「いって」「かいて」を先生と一緒に書く場面が 受けるようになってきた。

ねらい

- 先生や友達と一緒にいることが楽しいと感じる
- 先生や友達がいるときに一緒にやっていたことを思い出せる
- いろいろな遊びの思い出や作業を楽しむ

① 環境構成

- ・ シーソー
- ・ マット
- ・ タンブリン
- ・ マット
- ・ いす

実践内容

マットロールセームボックスのなかでジャンプして 保育者の持つ タンブリンにタッチして遊ぶ

A児が タンブリン用のタンブリンを持ってきて 保育者の 真似をして 友達にタッチして遊ぶ

先生が真似をして 自分から タンブリンの音を出して遊ぶ！
しばらくこの遊びが続きたいよ

シーソーが長くて 友達と一緒に遊ぶのが 楽しいよ

みんなが来るまで タンブリンを叩いて待つ

A児もまわる

A児もまたタンブリンを叩く

保育者の声に合わせて手を叩きながら数を数える

他の子どもも集ってくる

シーソーのまわりにはいる

さらには子どもが集まってきたので 保育者がA児も タンブリンを叩きに連れてくる

タンブリンを増やす

B児の遊びに 用紙が足りなくなったので 増やす

この時期はやりたいことが多すぎて 数が増える

タンブリンが増えたら 友達と一緒に遊ぶのが 楽しいよ

ジャンプタッチ遊び用に 用意した遊具が 足りなくなったので 増やす

叩きながら遊ぶと 友達と一緒に遊ぶのが 楽しいよ

振り返り

- ・ タンブリンを叩きながら数を数えてシーソーで待つのが楽しい
- ・ タンブリンを叩くのがうれしい
- ・ 友達と一緒に遊ぶのが楽しい
- ・ 友達と声かけあうのがうれしい
- ・ 友達とシーソーに乗るのが楽しい
- ・ シーソーがゆれるのがおもしろい

健康な心と体

- ・ 安心して遊ぶ
- ・ シーソーに乗って遊ぶときに 集中力が続く

自覚心

- ・ 自分だけの遊びをする
- ・ 自分の要求を伝える

協同性

- ・ 友達と一緒に遊ぶのが楽しい
- ・ 簡単な約束を守って遊ぶ

道徳性・規範意識の芽生え

- ・ 自分だけの遊びをする
- ・ 友達と一緒に遊ぶのが楽しい

社会生活との関わり

- ・ 友達と一緒に遊ぶのが楽しい
- ・ 友達と一緒に遊ぶのが楽しい

思考力の芽生え

- ・ 自然との関わり・生命尊重

数量・図形・文字等

- ・ タンブリンを叩きながら数を数える

言葉による伝え合い

- ・ 「かいて」「かいて」を先生と一緒に書く
- ・ 「かいて」「かいて」を先生と一緒に書く

豊かな感性と表現

- ・ 友達と一緒に遊ぶのが楽しい
- ・ 友達と一緒に遊ぶのが楽しい



椅子に座っている順番にシーソーに乗ったのかな？



シーソーにまだ乗っていない子どもが、数え終わったら自分から乗りにいったよ。シーソーに乗っている子どもが待っている友達に替わるために始まった遊びだから、順番にしようとは思ってなかったよ。



私なら順番に替わるように教えたかもしれないわ。



まだ乗ってない子どもがいたら「○○ちゃんはまだだね」とお互いが思い合えれば幸せだね。



3歳児にとったら打楽器は自分の思い通りに音が出せることが楽しいと感じるポイントじゃないかな。

＜保育ほっとホットークを終えて 記録者が学んだこと＞

●3歳児らしい姿や保育が、他学年の保育者にとって新鮮に感じられたことが話のきっかけとなり、「物との出会い」「遊具や用具の数」など3歳児のこの時期のねらいや環境構成のポイントにつながるトークとなった。

●「ほっとホットーク」の中で「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」を記入する時に「自分で音をコントロールできる」という打楽器の特性が3歳児にとっては楽しいと感じるポイントであり、やがてリズムに合わせて叩くことにつながるということを学んだ。

●「順番をどんな場面で教えていくのか」については、3歳児ならではというよりも保育者の価値観によるところが大きいかもしれない。自分の価値観や援助の傾向などについて考えるきっかけとなった。

